

「子どもまんなかおしゃべり会」

保護者ボランティア・学校運営協議会委員・民生委員児童委員・篠原こども園教職員、篠原小学校教職員のみんなで篠っ子のことを話題に語り合い、大人がどんなことができるのかについて考える時間を持ちました。

はじめに、篠原小学校の地域学校協同活動推進員さんから、コミュニティ・スクールのこれまでの取り組みについての紹介がありました。○おしゃべり会 ○たてわり活動 ○読書活動 ○グラウンド整備 ○「しのっこ応援ボランティア」など、改めて、コミュニティ・スクールと地域学校協活動の一体的推進の様子についてみんなで共有し、しのっこ応援ボランティアの進め方について、話が盛り上がりました。



話題提供として、中主学区で子ども食堂や学校運営協議会委員をされている方にお話をいただき、それを共通の話題として、子どものことについて語り合いました。

子どもたちの食や目指すこどもの姿について、子どもの前での親の言葉遣いや態度、貧困を伴う親と子どもの常識など、地域での子どもを実態に踏まえた地域の大人としてできること、思うことについてお話をいただきました。

講演の後、小グループに分かれて一時間程度の話し合いをし、スマホをはじめ SNS について二学期が始まる 9 月 1 日問題とラジオ体操をはじめ地域での取り組みについて、子ども同士のつながりと親同士のつながりについて、自信の無さや自主性が育つ場づくりについて、中学生と自治会のあり方についてなど、こども園・学校・親・地域の大人として子どもを真ん中に据えた、「できそうなこと」「やってみたいこと」「目指す子供像」などについて意見交換ができました。立場が違々と違う考えやアイデアが出てきて、参加者同士が知恵を出し合える良い時間を過ごすことができました。



篠原小学校 地域学校協働活動